

# WUCO2024 報告書

東京大学院修士二年 本庄祐一

## 1, 初めに

この度ブルガリアで行われた 2024 年世界大学オリエンテーリング選手権に日本代表として参加しました、東京大学修士二年の本庄祐一です。参加した種目はスプリント、スプリントリレー、ミドル、フォレストリレーでした。この報告書ではこれらの種目についての詳述をし、最後にまとめとします。

## 2, スプリント

結果：81/131 (トップ+3:01)

スプリントは体の状態的にも自信を持って望んだ種目でした。事前に行っていた対策としては代表同士での地図読みや Google マップで建物の入り口でわかりづらいところをピックアップするなどでした。レース的には序盤からスピードを出していこうと思っていて、今回のレースでもそれは上手く行きました。しかし、誤算だったのは自信を持って走れる区間が長すぎたため、スピードを出しすぎて中盤にはすでにガス欠になってしまった点です。具体的に言うと 2 ポまでは全体 4 位のタイムで走っていたのですが、そこから 4 ポにかけてまでもスピードをほとんど落とさずにいってしまい、4→5 のロングレッグでほとんど体力が残っていない状態になってしまいました。あまり街スプリントをやってこなかった弊害がこの辺に出たのかなと思います。

## 3, スプリントリレー

結果：11/24 (トップ+4:07 個人+1:45)

スプリントリレーは 1 軍の 3 走で出走しました。一走の近藤選手が 10 位 (一軍内 7 位) という会心の走りをし、トップと +30 秒程度でのバトンパスとなりました。二走の二俣選手が全体 13 位で何人かの集団の中で繋いでくれました。三走の役目としては集団だったら集団を使い、集団ではなかったら自分のレースをすることでした。実際集団で来たためにその流れに乗っての序盤、中盤でした。集団の中ではトップスピードは 3:20/km ほど、平均で見ても 3:40/km だったため、自分から先行することはできず、ついていくという形になりました。その中で課題と感じたのは、アタック周りの読図精度です。リレーということもあり海外選手もミスが多い中で顕著だったのはアタック周りのうろつきでした、特に今回はなかなか見える位置にポストが置いてないことが多く、かなり近くまでいかないと見えないという状態だったのでアタックの精度が高ければもっと差を縮められたのかなと感じました。結果的には終盤の部分で体力的にもキツく難しかったこともありそこで大きく差をつけられてしまいました。自分のところで全体 16 位となり集団からも離されてしまったのは

力が足りなかったのかなと思います。4走の桑原選手は安定した走りで全体15位、一軍11位となり前回の順位よりは落としてしまったものの、前回より多くの国が参加する中でまずまずの結果だと思っています。ただ、1走2走の走りが素晴らしかっただけに3・4走でももう少し粘りたかったという気持ちもあります。

#### 4, ミドル

結果：82/132 (トップ+10:29)

ミドルのトレインは多くの岩が点在するエリアもあれば白く片斜なところもあったりとバリエーションに富んだトレインでした。初めは岩が多い区間で、中盤が白いエリア、終盤は藪も多く日本に近いエリアでした。自分は多くの選手がミスをしていた序盤のエリアでは比較的上手く行き、そのエリアを抜けるあたりでは40位とまずまずのレースをしていました。しかし、その後の白いエリアで大きなミスをつつしてしまい、大きく順位を落としてしまいました。そこからは良くも悪くもないレースで繋いだ結果、82位という納得のいく順位とはなりません。序盤のエリアを上手くこなせたのは自分の中では大きな成長を感じたところでしたが、ふっと集中が切れてしまった時にスピードを落としてしまったのとミスをしてしまったのが課題として残りました。最後まで持つ集中力というところが大きな課題です。

#### 5, フォレストリレー

結果：13/25 (トップ+15:52 個人+6:11)

フォレストリレーでは一軍の三走で出走しました。一走は永山、二走は平岡でした。一走の永山選手が少し出遅れ、全体29位で平岡選手に渡りました。平岡選手は集団ではなかったものの、安定した走りを見せて全体25位まで押し上げました。そして自分でしたが、今レースは距離に対してタイムが早いことから比較的道を使っていけると判断し、ギアを上げつつ前を追っていくレースでした。序盤にスピードを上げていたおかげで5人近くを抜くことができ、そこからは一人のレースになりました。ビジュアル近くでイギリスの二走に追いつきバックになりましたが、そこからは体力的にキツくなり抜くことは叶いませんでしたが、三走として順位にこだわっていたので、全体18位まで押し上げることは満足しています。

#### 6, 最後に

二回目のWUCOでしたが、自分の中で成長を感じたのは世界大会のミドルというかなりレベルの高いコースを前回よりミスを少なく回ることができたところが大きかったと思います。その一方でスプリントでは上手く結果に繋がらなかったなという悔しさが残りました。最後のWUCOでしたがメンバーにも恵まれオフィシャルの支えも大きく、レースに集中できたなと思います。応援していただきありがとうございました。